



今、この瞬間にも。

By アミール・ツアルファティ

2017年4月15日公開

みなさん、こんばんは。私にとっては、まだ朝です。もう一週間たつのですが、私の体はまだ、イスラエル時間になっているので、もし途中で寝てしまったら、起こしてくださいね。カリフォルニアで素晴らしい一週間を過ごして、ここでたくさんの祝福を受けています。また、これだけの数のクリスチャンたちが、イエスがすぐにでも来られるのを期待しているのを見たのは、久しぶりです。(拍手) フェイスブックや、アプリやウェブサイトその他でビホールド・イスラエルをフォローしておられる方なら、私がずっと言い続けていることをご存知でしょうが、私たちは、主に来てほしいと願う私たちの想いを、声に出して言わなければならない、と私は心底思っています。聖書にはこうあります。

17 御霊も花嫁も言う。「来てください。」

(黙示録 22:17)

私たちは、主に「来てください。」と言わなければならない、と私は思っています。ちなみに、主に「来てください。」と言うのは、とても聖書に適った事なのです。『主イエスよ、来てください。』(黙示録 22:20) と聖書にありますから。イエスご自身も、イスラエルの人々にこう言われました。

39 『祝福あれ。主の御名によって来られる方に』とあなたがたが言うときまで、あなたがたは今後決してわたしを見ることはありません。』

(マタイ 23:39)

私たちが主に「来て、私たちを連れて行ってください。」と言うのは、とても聖書に適っていることで、主はそうされると約束されたのです。

3 わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。

(ヨハネ 14:3)

私はこの6か月間、世界中を回って携挙について教えていますが、あまりに多くのクリスチャンが携挙を信じていないのを見て、衝撃を受けました。彼らは信じていないか、拒否して敵対しているかのどちらかです。そこで私は、

「では、彼らは一体何を待っているのだろう？」

と思ったのです。私の友人の一人は牧師ですが、

「今のここが神の国だ。」

と言います。そして、

「全て終わったのだ。」

「全て成就したと信じている。」

「西暦 70 年に全て成就した。」

「皆、救われている」

と言うのです。彼は教会の牧師で、私の良い友人です。このように私たちは、主を待ち望むのと同時に、物凄い背教を目撃しています。大きく外れ、大きな欺きが内側から起こっています。聖書の中には、反キリストが興ると書いてあります。しかし、反キリストは複数あり、それらは実際に私たちの内部から出てくるのです。これが最も恐ろしいことです。そこで今日のメッセージのタイトルは

「今、この瞬間にも。」

私をご存知の方は、これが何を意味するのか、よくご存知でしょう。これはイスラエルツアーを引率する間に、私が恐らく一日に 50 回は使う言葉です。私はいつも「今、この瞬間にでも。」と言います。

グーグルの検索ワードが、「トランプの軍事的激化」「シリア」「北朝鮮」に続いて、「第三次世界大戦」というのが、これまでになかった程の過去最高を記録したそうです。つまり、世界が何か大きな事に向かって突き進んでいるだけでなく、ごく一般の人たちが「これは一体どういう事か」と調べているのです。どうして「第三次世界大戦」なんて検索しますか？私は、何が起こったのかを調べる為に「第二次世界大戦」なら検索しますよ？でも何故「第三次世界大戦」なんて検索するのでしょうか？これは、人々が——その人がイエスや聖書を信じているとかいないとか、それとは関係なく、私たちの一人一人の中には、将来を知りたいと思わせる何か既に備わっているのです。私たちが現在目にしているものは、いずれ終わりがやって来ると告げるもの。聖書には

1 初めに、神が天と地を創造した。

(創世記 1:1)

と書かれています。また、

7 万物の終わりが近づきました。…

(第一ペテロ 4:7)

とあります。驚きはしませんが、チノヒルズを車で走っていた時に、占いの店がありました。ニューヨークの大都市ではもうお馴染みで、ある通りなどは 2 軒に 1 軒が占いの店です。あちらでは、スターバックスやマクドナルドを除いて、彼らが一番儲けているでしょう。そこで、運転していた人が

「この店は、ずっと昔からここで繁盛していますよ。」

と言うから、私は

「そりゃそうでしょう。皆、将来を知りたいですからね。」

と言いました。残念ながら、薄暗い部屋で、不細工な男や女から、訳の分からない話を聞くために、人はおカネを払うのです。

今朝の「ロンドンエクスプレス」が次のように報道しました。

「世の中はピリピリしている：北朝鮮は今日にもミサイル実験を行う準備が出来ている」

「テレグラフ」によると、

「北朝鮮による実験の検討は、トランプを刺激しかねず、世界は『熱核戦争寸前』」

面白いです。ところで、私は皆さんを脅かそうとしているのではなく、新聞を読んでいるだけです。

今日、私が伝えるメッセージは、希望がいっぱい、素晴らしい約束です。今、新聞が伝えていることをお話しましたが、あれを見て、皆が聖書ではなく、グーグルで「第三次世界大戦」と検索するのです。しかし、面白いのが、20分前だったでしょうか、緊急速報がありました。北朝鮮が平壤で盛大に軍事誇示した後、ミサイル発射に失敗。(拍手) このプレゼンはかなり最新ですよ。(笑) わたしは20分前にここで見たのですから、ビックリです。

それはともかくとして、要点は、現在世界中で起こっていることの全ては、非常に敏感だという事です。今、私がこうして話している間にも、ロシアはウラジオストクから軍を動員しているのです。そこはロシアから北朝鮮への最短地点です。彼らはそこに物資を移動させているのです。特にS-400対航空機砲台。これは、北朝鮮に向けて飛んでくる全てのを破壊するためです。このように、どんどんエスカレートしていて、もはや北朝鮮VSアメリカではありません。今では、ロシアVSアメリカ。そして中国が、皆に「落ち着け!」「戦争している場合ではない!」と言っているのです。それに対してロシアは、中国が自動的に彼らの味方に付かなかったので驚いているのです。全てが変わりました。それも凄いのは、世界は何か大きな事が起こるには、一触即発だという事です。これは、私が言っているのではありません。ご自分でニュースを見て、新聞を読めばわかります。それから聖書を教えるのは、人を怖がらせるためではありません。全く逆です。神の御言葉の中には、大きな約束があるのです。しかし皆さんは、理解しなければなりません。占いに行く代わりに、この中には素晴らしい約束があって、神は確実に、その子どもたちには神の計画を知っておいてほしいと望んでおられるのです。イザヤ書46:9~10にはこうあります。

9 …わたしが神である。ほかにはいない。わたしのよな神はいない。

10 わたしは、終わりの事を初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げ、『わたしのはかりごとは成就し、わたしの望む事をすべて成し遂げる』と言う。

(イザヤ書46:9~10)

神は、初めから終わりの事を告げ、神はその子どもたち全員が、神のご計画を知ることが望んでおられるのです。そして言われるのです。「わたしは、これらの何一つとして驚きはしない。わたしは全て、自分の望むとおりに成し遂げるのだ。」と。このように、神はその子どもたちに、神のご計画を知っていてほしいと願っておられますが、問題は「あなたは将来を知りたいと思っていますか?そのために、ここにある最も信頼できる情報源に頼るのですか?それとも他のものに頼るのですか?」興味深いことに、神がその子どもたちに神のご計画を知っていてほしいと願っておられ、神の預言者たちを通して、それを伝えられたのです。預言者とは、本当に悲惨な人たちでした。彼らは「預言者だけには」なりたくなかったのです。今では皆が預言者「prophet」になりたがりますが。プロフィット=儲けがあるからでしょうかね?(笑) 言っておきますが、私はNonprofit Organization (NPO=非営利団体)の者です(笑)しかし残念ながら、これが流行となって、あまりにも多くの人が預言や預言者を教えて、アレヤコレヤと言いますが、皆さんよく注意しなければいけません。私たちは自分の意見ではなく、神の計画を教えるなければなりません。ああいった人たちは、自分の見解を教えているのです。彼らは自分の解釈を教え

ます。しかし、聖書には何を教え、どう教えるかについて、実に明確に書かれています。聖書預言においては特にです。第二ペテロ 1:20~21 にはこうあります。

20 それには何よりも次のことを知っていなければいけません。すなわち、聖書の預言はみな、人の私的解釈を施してはならない、ということです。

21 なぜなら、預言は決して人間の意志によってもたらされたのではなく、聖霊に動かされた人たちが、神からのことばを語ったのだからです。

(第二ペテロ 1:20~21)

つまり、エレミヤもイザヤもエゼキエルもミカもハバククもマラキも…皆さんはマラカイとかマラチーとか呼びますか？イタリア系かどうかで違ってきますよね？彼らの誰一人として、これを職業として自分で選んだのではありません。これは彼らの私的解釈ではありませんでした。神が彼らと呼ばれ、彼らは

「私はここにいます。私をお遣わしてください」

と言ったのです。ですから、これは神の働きであり、彼らの解釈ではありません。ですから、エゼキエルが2,800年前にこれから起こることを語った時、彼には2017年に起こる出来事など、何の事だかさっぱり分からなかったのです。しかし、神はご存知でした。そして聖霊が、エゼキエルを通して神が語られることを送り出したのです。

とても面白いのが、多くの人が「預言者は預言者であり、旧約聖書は旧約だ。イエスが来られて、全てが新しくなった。だから古いものは全てが古くなって、もはや価値がないのだ。」と考えていることです。クリスチャンの中にも、新約聖書と詩篇しかない聖書を持って、教会に行っているのを見ます。その聖書が半額ならいいと思いますが。(笑)それは、神の御言葉の半分ですから。イエスはたったの一度も、新約聖書から説教をされたことがないのはご存知ですか？ただの一度も、です。パウロもペテロも、その教義の中で新約聖書を一度も引用したことがありません。彼らが「…と書いてある。」と言う時、「神のことばには…」と言う時は、いつも旧約聖書からです。どうしてそれを横に押しやるのですか？聖書でさえも、ヘブル人への手紙にはこうあります。

1 神は、むかし父祖たちに、預言者たちを通して、多くの部分に分け、またいろいろな方法で語られました、

2 この終わりの時には、御子によって、私たちに語られました。

(ヘブル人への手紙 1:1~2)

つまり、昔、預言者を通して父祖たちに語られた同じ神が、この終わりの時には、彼の御子イエスを通して、私たちに語っておられるのです。全てを取り消されたのではありません。イエスご自身が言われました。

17 わたしが来たのは律法や預言者を廃棄するためだと思っはなりません。廃棄するためではなく、成就するために来たのです。

(マタイ 5:17)

そこで問題は

「あなたはどこにいますか？」

この世で、神が成される事には二つの軌道があると、私は信じています。一つは世界情勢。これは、あなたには変えることが出来ません。あなたが外に立って、反キリストの興りを止めようとしても、それは出来ません。彼（反キリスト）は出て来ます。たとえあなたが断食して祈り、「それは取り消される！」と言ったところで、興るのです。これは、もう既に決定されていることです。聖書の中で、御使いが預言者ダニエルに語ったとき、彼は実際ダニエルに言ったのです。

23 あなたが願いの祈りを始めたとき、一つのみことばが述べられたので、私はそれを伝えに来た。

（ダニエル書 9:23）

そして、70 週が何だと言いましたか？『定められている』それまで、です。神が、世の中で起こると言われたことは、起こるのです。止めようと思うなら、やってみても構いませんがね。イエスは私たちに「あなたがたは地の塩です」と言われましたが、塩は、肉が腐敗するのを完全には止めません。遅らせるだけです。そのように、神は、私たちの事を、何らかの形で、まだ保存するため、物事をとどめておくために使っておられますが、一旦それが取り除かれると、一旦私たちがここを出ると、それまでなのです。全ての地獄の火蓋が切って落とされます。このように、世の出来事に関しては、既に定められています。様々な事が起こりますが、これらは既に決まっているのです。それに関しては、後ほど見て行きますが、皆さんの人生に関しては、あなたの選択です。それによってこの全体図の中の、あなたの居場所が決まるのです。あなたは、イエスが私たちと一緒に戻って来るのを見る側にもなれるし、私たちと隣にいて、イエスを後ろから見る側にもなれます。私たちは、彼（イエス）と一緒に戻ってきますから。私たちにある選択肢は、この2つだけです。

これから、中東で起こっていることに関して、簡単に時系列をお見せしましょう。この2週間の間です（2017年4月）。聖書に既に定められている、これから起こる聖書的な出来事に関して、背景が少し見えると思います。

まず第一に、皆さんが攻撃されましたよね？（笑）どうしましたか？皆さんがシャリアット空軍基地に、59発の巡航ミサイルを発射したんですよね？皆さんは、基本的には、大勢を殺した化学兵器攻撃に報復されました。化学兵器使用はこれが初めてではありません。ちなみに、皆さんはその攻撃がどこから成されたかを、正確にご存知でした。どこの空軍基地から起こったのかを、皆さんははっきりとご存知だったのです。そして、それには3つの理由があります。一つに、皆さんがシリアの空軍とシリアの化学兵器専門家との会話を、二日前に傍受したからです。それが落とされるとどうなるのかを、彼らは話していました。

二つ目に、皆さんはさらに傍受しました。ちなみに、私は皆さんを責めていますが——私たちも、もちろんそこにいましたから。とにかく、…皆さんが攻撃したから、その理由を私がお伝えしているのです。皆さんは、怪我人を病院へ搬送中の救急車のすぐ横を飛んでいた、ロシアのドローンに傍受しました。そして、その数があまりに多いことに気付いたとき、シリア空軍が来て、病院に爆弾を落としているのを、皆さんは目撃したのです。そして次に、シリア空軍が、病院を破壊するのを防ぐため、そこからはるばるトルコ国境まで行き、トルコに搬送される途中の怪我人を乗せた救急車を攻撃したのを、皆さんは目撃したのです。これらは全て隠蔽のためで、彼らがサリンの被害者だと知られないようにする

ためです。59発のミサイルを発射した瞬間、私たちは2時間前にその警告を受けていましたので、私たちは何が起こるか、正確に把握していました。ロシアも警告を受けていたようですし、シリアにも警告していたようです。それから、イスラエルは直ちに

「我々は、誰が攻撃したかを知っている。アサドだ。」

と言いました。ロシアは、シリアに関して、イスラエルに警告しました。

「根拠のない主張は、受け入れられない。」

そう言って、ロシアはノートを取りだし、我々の落ち度を書き始めました。

「第一に、イスラエルが一番に出て来て、アサドの仕業だと言った。」

それからどうなったか。攻撃の後、モスクワが出て来て発言したのは

「シリアでの偽化学兵器攻撃が、アメリカの更なる攻撃を誘発した」と。

さらには、

「我々が得た別の情報源によれば、この誘発は他にもない『ダマスカス南部』の郊外を含む、シリアの他の地域で準備された。彼らの計画は、物質を投げつけ、シリア当局を非難するためのものだ。」

つまり、彼らが現在行っているのは、

「シリアはやっていない」

と言うだけでなく、

「もっと多くの事が計画されており、我々はそれについて知っている」

と言っているのです。皆さん、イザヤ書 17:1 の預言はご存知ですか？

1 ダマスコに対する宣告。見よ。ダマスコは取り去られて町でなくなり、廃墟となる。

(イザヤ書 17:1)

ほんの6年前までは、地上の殆どの人が、ダマスカスとは何で、何処に位置するのかさえ知りませんでした。それが今ではニュースで、その完全破壊について語っています。さて、興味深いことに、ロシアが私たちに敵対していることの一つがこれです。

そして、二つ目が出たのは先週の事です。ご覧ください。

「EU、国連が、イスラエルのパイプラインに伴って、ロシアへのガス依存をカット。」

あらまあ。イスラエルからイタリアへ通る、世界最長のパイプラインを、現在海中に建設中です。皆さん、お分かりですか？これはとても大きな事で、これがなくては、ロシアは生きてはいけないのです。

そして、三つ目は、皆さんが攻撃をした後、一番最初にトランプの行動を称賛した世界の指導者は誰でしたか？また一つ、ノートに記されました。つまり、私が言いたいのは次のことです。もう一つの方は飛ばして、北朝鮮も飛ばして…

今朝登場した、新しいことについてお話ししましょう。

シリアの元軍司令官の発言：『アサドは何百トンもの化学兵器を所有している。』

ちなみに、この男はシリア政権の軍司令官でしたが、実際には反政府勢力へと離脱しました。しかし彼は、彼ら（シリア政権軍）がいくつ持っているのか、何処に持っているのかを正確に知っています。

「偽ニュース」と言う言葉を聞いたことのある人はどれくらい いますか？
結構たくさんの方がご存知ですね。「偽ニュース」とは何か知りたいですか？これをご覧ください。
昨夜、ロシアの報道機関が動画を流し、

「何百人ものユダヤ人が、ある=アクサーモスクを占領した」
と報道しました。お分かりですか？だから私は夜寝ないのです！何で待ってくれなかったんだ！私も一緒にやりたかったのに？さて、どうやら彼らが流していた動画は、嘆きの壁での祭司の祈りのようです。
何千人ものユダヤ人が、嘆きの壁に集まる、毎年恒例の祭司の祈りです。しかし見出しは、

「何百人ものユダヤ人が、アル=アクサーモスクを占領した」
これが昨夜です。私が言いたいのは、とても重要な事です。これ以上はニュースに深入りしたくありませんが、皆さんは理解しておいてください。この世では現在、いくつかの事が起こっているのを我々は見ています。一つは、神の御言葉が実現し始めている。世界中の指導者たちの頭の中、心の中を、神は2,800年前にご存知でした。そして、それについて語られました。しかし、私たちはまた、煙幕が上がっているのを見えています。そして、残念なことに、とても多くの人が、クリスチャンまでもが、その罨にかかっているのです。トランプが大統領になった事を除いても、これはこれで、今までに見たこともないほど、皆さんの国を分断しましたが、シリアの化学兵器攻撃に関しては、私の知っているクリスチャンの半分以上が、完全に反対側です。そこで私は、

「どうして彼らは、誰もが知っているこんな単純明快な事に関して、ネット上で争ったり、攻撃し合っているのだろう？」

と考えていました。私は、飛行機の操縦士の名前を知っていて、彼の飛行機の名前も知っています。彼らは飛行機に名前を付けますから。私は彼の住所も電話番号も知っています。彼がどこから離陸したか、その時間も知っています。そして、彼が爆弾を落としている動画もあります。

「いいや！彼は自分の同族にそんなことはしない！」
かも知れません。しかし、彼はやったのです。それも、彼は何度も行っています。これは、40回目。2回や3回ではありません。

私が言いたいのは、非常に多くの欺きがある、という事です。人々は、最も重要な事をそっちのけで、間違ったことにすがり付き、真理から離れ、神が私たちにたくさん下さった、これらの事から離れていきます。そして、それら全ての最中に、信じられないようなことが起こっているのです。

棕櫚の主日（2017年4月9日）にエジプトでテロがあったのは、どれくらいの方がご存知ですか？写真はご覧になりましたか？——はい、では、皆さんが見聞きされていない事をお伝えしましょう。二日前に葬式が行われて、その時に、コプト教会の指導者が話をしました。その中で、彼は基本的にこのように述べました。

「私はISISに伝えたいことがある。一つに、私は彼らに感謝している。」
そこで誰もが顔を見合わせましたが、彼は言いました。

「私たちは、彼らに感謝しています。彼らは、50人を真っ直ぐイエスの御腕の中に入れてくれたのだから。それだけでなく、彼らに感謝な事に、攻撃を受けて以来、教会が満員です。これまで、めんどうがって教会に来なかった人たちが、今では教会に駆け込んできます。」

そして、彼は言いました。

「だからあなたがたに感謝します。それから、あなたがたにもう一つ、伝えたいことがあります。私たちは、あなたがたを愛しています。」

すると、聴いていた人たちが、

「何!？」

と言い、彼は言いました。

「そうです。私たちはあなたがたを愛しています。あなたがたが明らかに真理を理解されていない事を、私たちは知っていますから。あなたがたがさっぱり分かっておられないのは明らかですから。事実、もう一つ、あなたがたに言いたい事があります。私たちはあなたがたの為に祈ります！」

そう言ってから、彼は、

「これがキリスト教だ！」

と言いながら、次から次へと聖句を引用しました。

このように、混乱、戦争、テロ、恐れの中に、死はそのとげを失っているのです。私たちは、敵を愛することが出来、敵の為に祈ることが出来、そして、私たちは主に感謝することが出来るのです。私たちにとって、生きることは？

「キリスト」

死ぬことも？

「益です。」(書記注:ピリピ 1:21)

私は恐れません。それだけです。

もう一つ、皆さんにお知らせしたいのは、最近人々が——私の所には、毎日何百通もの Email が届きますが、ここ数か月の間に、どれくらいの人が幻や夢を見ているか、ご存知ですか？使徒の働き 2:17、ヨエル書 2:28~29 をご存知ですか？ヨエル書には、こうあります。

28 その後、わたしは、わたしの霊をすべての人に注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、年寄りも夢を見、若い男は幻を見る。

29 その日、わたしは、しもべにも、はしためにも、わたしの霊を注ぐ。

(ヨエル書 2:28~29)

現在、主がどれくらいの人にはっきりと語られているかご存知ですか？

「わたしは間もなくやって来る。」文字通りです。

確か、先生も、誰かがその夢を見た、とフェイスブックライブでおっしゃっていましたよね？世界中のあちこちで、です。アメリカだけではなくありません。フィリピン、日本、マレーシア、インドネシア、はるか中国からヨーロッパ、ヨーロッパからアメリカ、メキシコ、南米、オーストラリア、ニュージーランド。世界中で、神が、子どもたちにも老人たちにも、若者たちにも語り始めたのです。そして主は、彼らに言っておられるのです。

「見よ。わたしはすぐに来る。」

それで、ちょっと待ってください？一方では全てがバラバラに崩壊して行き、もう一方では全てが然るべきところに収まりつつあります。

神は、私たちにはワールドニュースのメガネを通してではなく、聖書の視点から、自分たちの周辺で起こっていることを見るようにと願っておられるのです。こう言うと、皆さんは恐らく言うでしょう。

「ニュースと聖書は全く別物でしょう？」

いいえ。

聖書は、“His Story”（彼のストーリー）=History（歴史）です。聖書は、私たちに過去にあったこと、現在起こっている事、後に起こる事を伝えています。この中に、すべての事が書かれています。

「それなら、ロシアが聖書に出て来るとも言うのか？」

そうです！

「トルコやイランが聖書に出て来るとも言うのか？」

そうです！

「エジプト？」

そうです！！

「アメリカはどうなんだ？」

う～ん…。

だから皆さんはここに来られたのですね？（笑）

お伝えします。皆さん、今日現在起こっていることは、すべて聖書の中に書かれています。ロシアについて？簡単です。聖書には、ある事実について語っています。北からロシユが来て、イスラエルを侵略すると。それには鉤があり、その鉤が彼らの顎にかかって、引きずり出されるのだ、と（書記注：エゼキエル 38:4）。それは、イスラエル—パレスチナ問題を解決するためではなく、ジハードを行うためでもありません。たった一つの目的、略奪、分捕る為、経済的利益になる何かを盗むためだけです。ロシアは、それを隠しもしません。中東について、彼らの頭にあるのは、ただガスと石油、それだけです。彼らがそう言っているのです。何故、彼らは今アサドを守っていると思いますか？それがアサドだろうと、他の誰であろうと、彼らにとってはどっちでも良いのです。彼らがあそこに欲しかったのは、自分たちの軍事拠点です。そうすれば彼らも、地中海へと通じることが出来るからです。彼らが所有する港の中で唯一、暖水の海港です。ロシアはそれが欲しかったのです。そこで考えたのです。

「もし彼が、崩壊寸前なら…」

悪魔は、私たちよりもいろいろな事をよく知っている、ご存知ですか？そして、

「彼らを、そのままにしておこう。」

となったのです。興味深いのは、皆さん、恐らくご存知ないでしょうが、イランはシーア派の拡散を狙っていて、彼らは理解もしていませんが、イラク、そしてシリアの全土にシーア派を拡散するためにやって来たのです。そして、時が来れば、彼らはイスラエルとの国境にいて、彼らは我々の所に侵入します。

これだけで足りなければ、アメリカは現在、その軍隊が非常に軟弱化していて、——皆さんご存知かどうか知りませんが、あの8年の後、皆さんの軍隊は今、1945年以降最弱の状態です。皆さんも知っておいた方が良いでしょう。私は軍から知っています。皆さんの設備、海軍、武器。今のこの時に、皆がそれ

ぞれの穴から出て来るのも無理のないことです。新しい大統領が就任して、軍隊を再建することは、彼らも分かっているのです。だから、

「何か事を起こすなら、今しかない。」

と。だから皆さんは、問題が様々なところで一斉に起こっているのを目にしているのです。皆さんを分散するために。イスラエルが助けを必要とする時、皆さんは助けることが出来ません。言うておきます。

もしこれでもまだ足りないなら、エジプトで起こっていることを見てください。エジプトの大統領が、皆さんの前大統領に避けられ、ボイコットされた後、8年ぶりにホワイトハウスに迎えられました。今では彼も、自分はアメリカやイスラエルと一緒にいるべきだと理解しています。たとえ今の時代、それはあまり好まれる事ではなかったとしても、です。皆さん、私の言っていることを、どうか理解してください。この後、御言葉を通して、それらが全て聖書に書かれていることをお見せしますから。

もしこれでもまだ足りなければ、私たちがこうして話している間にも、ロシア兵が2本の腕を伸ばしています。一方をスーダンに、もう一方をリビアに。スーダンでは、彼らにとって最大の武器売買が今現在行われています。膨大な数の、新しい…これらはロシアの中古戦車ですが、スーダンにとっては新しいのです。そして、ロシア兵がそこにいます。最近、ロシア兵達がどこで目撃されていると思いますか？リビアとエジプトの国境です。そして、ロシアの外務大臣が

「ちょっと待て、あなたがたは、そこで何をしているのか？」

と質問された時に、

「我々は、リビア政権が安定するように、見守っているのだ」

と答えたのです。そして、

「何故、あなたがたが必要なのか？」

と聞かれると、彼は

「リビアの油田全体が、反政府勢力に抑えられている為、我々はそれを解放しなければならないのだ。」と述べました。皆さん、彼らが気にかけているのは、ガスと石油。それが全てです。

では、サウジはどうでしょう？皆さんは、イスラエルが誕生して以来、サウジアラビアがイスラエルに対するジハードを誓っていたのは、ご存知ですか？皆さんは、オバマ政権8年の内最後の3年間に、オバマがイランと絡んでいた事で、サウジアラビアが「敵の敵は味方かもしれない」と考えるようになったのをご存知ですか？今では、サウジの代表団が堂々と、公式にエルサレムにやって来ます。また、サウジはイスラエルとの秘密の協議を結びました。その協議とは、

「あなたがたがイランを攻撃する際には、我々の空港の使用を許可する」

というものです。

「しかし、誰にも言うてはならない。」

「もし口外したら、我々はそれを否定し、さらに国連であなたがたを非難する。」

“日の下には新しいものは一つもない。”（伝道者の諸1:9）

サウジは、聖書の中では「シェバとデダン」です。

それなら、トルコは？明日、トルコで大きな事が起こります。ご存知でしたか？明日、エルドアン大統領は、「スルタン」（書記注：イスラム界の君主の称号。国王とか、皇帝とか、権力支配者を表すアラビア語）になるかどうかの、国民投票を行います。つまり、議会はもはや何の意味もなくなるのです。

「私が全ての権力を握る。」

たった今です。一旦、彼が全ての権力を握ると、ほぼ、そうなるように見えますが、それまでです。誰にも止めることが出来なくなるのです。そしてトルコは、シリアで何が起こってしようと全くお構いなしです。彼らには、また別の問題があるのです。彼らの問題とは？——クルド人です。クルド人たちは、シリア北部にいます。いずれ国になるでしょうが、トルコはそれを阻止したいのです。もし、シリアのクルドが国家になると、イラクのクルドも国家となり、そうするとトルコのクルドも、国家を求めるようになるからです。

だから、「我々もシリア入りして、ISIS と戦っているフリをしよう。」と。

このように、ロシアが ISIS と戦っているフリをして、シリアに入って来ました。

イランも ISIS と戦っているフリをして、シリアに入って来ました。

トルコも ISIS と戦っているフリをして、シリアに入って来ました。

言っておきますが、皆、ISIS と取引をしているのです。ISIS はシリア政府、トルコ政府に石油を売り、あの地域ではロシアにまで必要な石油を提供しています。

ふ～む…では、イスラエルはどうなんだ？

イスラエルはどうなのでしょう？

ダニエルが、悟りを与えるとの約束を受け取った時の事を、聖書はこう伝えています。

24 【あなたの民】と【あなたの聖なる都】については、70 週が定められている。

（ダニエル書 9:24、カッコは翻訳者による）

これはつまり、聖書預言と神の時系列は、どの国を中心としているのか？——イスラエルです。神は、イスラエルに対処され、その他の事は我々の周辺で起こるのです。しかし、この 70 週の間、神が『歴史 (His story: 彼のストーリー)』として世に与えたのは、イスラエル、それもエルサレムです。面白いのが、イエスはイスラエルにおられ、オリーブ山の上で弟子が彼の所に来て、聞いた時の事です。

3 「…世の終わりには、どんな前兆があるのでしょうか。」

（マタイ 24:3）

その時、主は彼らをしかりつけたりせず、座って、「オリーブ山の説教 (The Olivet Discourse)」で知られる素晴らしい説教をされたのです。マタイ 24 章、ルカ 21 章です。そのオリーブ山での説教中で、主は次から次へと述べられました。興味深いことに、「戦争や戦争のうわさ、疫病や地震」ご存知ですか？現在、世界中で起こっている地震は、2017 年 4 月までと、2016 年のものとを合計した数は、この地球の歴史上、これまでに見たこともない数に上ります。火山の噴火は、つい先日エトナ山（書記注：イタリア南部シチリア島）が噴火しましたし、グアテマラ、コスタリカから地球を横切って、インドネシア、マレーシアの地域まで、皆さん、至る所で起こっています。これらの一つ一つを全て実証しているウェブサイトを、私はフォローしていますが…ちなみに、彼らはクリスチャンではありませんよ。彼らは、聖書

を持ってハレルヤなんて言っていません。彼らはただ、これらを実証しているのです。私はこれらを見るたびにハレルヤ！と言いますが。信じられません。

飢餓——「今は 21 世紀だ。飢餓なんて起こらないよ。」

国連が飢餓を発表したのはご存知ですか？スーダンで、イエメン、ナイジェリア、ソマリア。飢餓は起こっているのです。飢餓とは、食べ物がないで起こるものではありません。これらの国が、あまりにも崩壊し過ぎたために起こっているのです。ともかく、飢餓は起こっています。それが事実です。

イエスは、これらの全てを伝えてから、そこで止まって、こう言われました。

32 いちじくの木から、たとえを学びなさい。枝が柔らかくなって、芽が出て来ると、夏の近いことがわかります。

(マタイ 24:32)

ぶどうの木
イスラエルの霊的特権の象徴
(詩篇 80:8; イザヤ書 5:1-7; エレミヤ書 2:21; イザヤ書10:1-2)
The Vine:
symbolizes Israel's Spiritual privileges
(Psalm 80:8, Isaiah 5:1-7, Jeremiah 2:21, Isaiah 10:1 - 2)

いちじくの木
イスラエルの国としての特権の象徴
(ホセア書9:10; エレミヤ書24:5; ヨエル書1:7)
The Fig Tree:
symbolizes Israel's National privileges
(Hosea 9:10, Jeremiah 24:5, Joel 1:7)

オリーブの木
イスラエルの宗教的特権の象徴
(ホセア書14:5-6; イザヤ書17:4-6; イザヤ書24:5-15; 詩篇52:8; 詩篇128; ローマ11:7-24)
The Olive Tree:
symbolizes Israel's Religious privileges
(Hosea 14:5 - 6; Isaiah 17:4-6; Isaiah 24:5-15; Psalm 52:8; Psalm 128; Romans 11:7 - 24)

これらの、物凄い世界の出来事を伝えてから、突然止まって、「いちじくの木」と言われました。そしてこれはたとえだとも言われました。つまり、彼は実際には別のものについて語られているという事です。聖書の中で、イスラエルは様々なものに例えられています。ぶどうの木、いちじく、オリーブ。こちらをご覧ください。ぶどうの木は、イスラエルの霊的特権の象徴、いちじくの木は、

イスラエルの国としての特権の象徴、そしてオリーブの木は、イスラエルの宗教的特権の象徴です。そして、ホセア 9:10、ヨエル 1:7、エレミヤ 24:5 では、確かにイスラエルは神のいちじくの木です。そしてイエスは、完全に死んでいたそのいちじくの木回復について言われたのです。また、回復とは、まず土地の回復があり、そして世界中にいる民の救済、それから、その民とその時のつながりの回復、民の、その土地への帰還です。そして、私たちはその全てを経験してきた世代です。



マーク・トウェイン（書記注:アメリカの作家。「トム・ソーヤの冒険」の著者。1835~1910）は 1800 年代にそこを訪れ、当時はパレスチナと呼ばれていたイスラエルの地を見ました。そして、彼ら記録したのです。彼が見たのはこちらです。

「死。何も育っていない。サボテンさえ、そこでは育たない。」
それから彼はこうも書いています。

「不毛の地。人っ子一人いない。」

興味深いことに、聖書にはエゼキエル 36 章にこう書かれています。

8 だが、おまえたち、イスラエルの山々よ。おまえたちは枝を出し、わたしの民イスラエルのために実を結ぶ。彼らが帰って来るのが近いからだ。

(エゼキエル書 36:8)

イスラエルの人々の帰還の備えをせよ、と、神は不毛の地に命じられました。そして、どうなったかと思いませんか？

土地は、完全な肥沃の地になったのです。帰還に備えて、です。私たちは食べ物、野菜や果物、花などを輸出しています。我々は脱塩システムを輸出しています。皆さんも欲しいですか？皆さんにも必要ですよ。数日前に、イスラエルは新しいことを発明したと発表しました。我々は、空気から水を収穫できるのです。皆さん、新聞でお読みになりましたか？スゴイです。皆さんがくしゃみをすれば、我々はそこから水を作るのです！（笑）



皆さん、これは 36 章です。そして 37 章では、エゼキエルは乾いた骨でいっぱい谷に導かれます。そこでエゼキエルは、「主よ。これは何ですか？」と尋ねます。主が言われます。

11 「人の子よ。これらの骨はイスラエルの全家である。ああ、彼らは、『私たちの骨は干からび、望みは消え失せ、私たちは断ち切られる』と言っている。

(エゼキエル 36:11)

しかし、エゼキエル、彼らに言え。わたしはあなたがたのことを忘れてはいない。わたしはあなたがたを墓から引き上げ、あなたをあなたがたの地に住みつかせる（エゼキエル 36:12~14 参照）。興味深いことに、これらの干からびた骨がしゃべるのです。彼らは骨と皮だけで、肉がないのです。私はこれがどうしても理解できませんでした。ナチスの強制収容所からの解放の写真を見るまでは。



これらの人々を見ると、彼らは骨と皮だけで、その目を見ると、全く望みも将来もありません。彼らは、本当に神から忘れられたかと思っていたのです。すると、主が言われるのです。

「エゼキエル、彼らに預言して言え。わたしは彼らを、あの墓から引き上げ、彼らを彼ら自身の地、イスラエルに住みつかせる。」

そしてどうなったか。

ホロコースト（ナチスによるユダヤ人大虐殺）の灰の中から、何万人、何十万人もが、自分たちの地に戻ったのです。海を渡り、空を飛んで。私の祖父母はあの船に乗っていました。

アウシュビッツからイタリア、はるかイギリスで。彼らはまた、キプロスにある別の収容所に送られました。これは、1980年代前半です。エチオピア人は747機に1000人。アメリカ人なら、747機に1000人は入らないと思いますが、ひとつ言えるのは、着陸した時には1001人になっていたということ。途中、機内で赤ちゃんが生まれたのです（笑）



皆さんに伝えたいことがあります。

我々のシークレットサービスは、人を殺すのが仕事ではありません。我々の最大の目的は、外に出て行ってユダヤ人達を地の四隅から連れて帰って来ることです。彼らは、自分たちの地に戻って来ています。神は、地を回復されました。神は、残りの者を救い出されました。そして神は、彼らを彼らの地に帰還させ、エゼキエル 36、37 章の約束は成就されました。現在、私たちはエゼキエル 38、39 章の寸前で、エゼキエル 38 章はロシュ、ペルシャ、ゴメル、トガルマ、クシュとプテについて語っています。これらは、ロシア、イラン、トルコ、リビア、スーダンの名前です。

「わ～お、ちょっと待ってください。さっき、彼らについて話したばかりじゃないですか？」

はい、その通りです。私がこれら全てを伝えている理由は、ロシアはすでに彼らの武器をそこら中に配備しているからです。そして時が来て、彼らのノートに記載されている内容が十分に揃えば、彼らはやって来るのです。それはもう間近です。彼らは攻撃してきます。そして、侵略してきます。するとどうなるでしょう？

聖書には、「タルシシュの商人たち」が——これは現在のヨーロッパ、イギリスの聖書的名称で、彼らがその攻撃を非難する、とあります。さらに聖書には、「タルシシュの商人たち、およびそのすべての『若い獅子たち』」とあります。これらは、ヨーロッパ、イギリスから出て来た者たちの事です。これはアメリカだと私は思っていますが、彼らもまた非難します。さらに、この非難する者たちに、誰が加わるかお分かりですか？シェバとデダン——サウジアラビアです。私は、1年前にも5年前も、10年前も同じ事を言えました。しかし、これを言ったところで、訳が分からなかったでしょう。でも言えますよ。私はこれを10年以上教えていますから。しかし現在、これは計画ではなく、現実です。サウジは既に非難しようとしています。ヨーロッパは軍事的には一切関わっていません。そしてアメリカは、あっちこちに引っ張られて、唯一出来るのは批判だけです。

ロシアは準備周到で、イランは…

我々の軍隊は、ゴラン高原とシリアで起こっていることに、注意深く耳を澄ませています。我々は何を耳にしていると思いますか？イラン語、ロシア語、トルコ語です。アラブ語は、ほとんど聞こえて来ません。

わ～お。以上です。

皆さんにお伝えしておきたいのは、これが起こる時、我々はこちらにはいないかも知れません。

「何だって？私はここにいたいんだ！」

なら、どうぞ！（笑）

聖書は、私たちに告げています。世界的指導者が興り、平和をもたらす、と。この戦争こそが、その平和をもたらすのです。そして一旦、彼が登場したら、私たちはここにいることは出来ません。彼が本性を現す前に、私たちは出て行かなければならないと、第二テサロニケには書かれています（書記注：第二テサロニケ 2:6～9 参照）。私は、聖霊と、私たちの内に宿っておられる聖霊が、引き止める者だと思っています。皆さんは、ご自分に引き止める力がある、と信じていますか？私はそう信じています。あなたは、そうは思いませんか？

皆さん、言っておきます。

私たちは今、終わりの終わりまで来ています。そして聖書にはこうあります。

28 これらのことが起こり始めたなら、（ほんの『始まり』を見たら、）からだをまっすぐにし、頭を上へ上げなさい。贖いが近づいたのです。

（ルカ 21:28）

それだけ？

ワクワクしませんか？（笑）（拍手）

「あなたの贖いが近づいています。」

——「ああ、そう。」「へえ～、本当。」

「あなたの贖いが近づいています。」

——「あら、そうなの？」

あなたの贖いが近づいているのです！！

そうです！（大歓声！）

こう言うと、「私は既に贖われていると思っていた。」と言う人がいますが、ローマ書 8:23 には、この悪の世からの体の贖いについて書かれています。聖書には、第一コリント 15 章にこうあります。

51 聞きなさい。私はあなたがたに奥義を伝えましょう。私たちはみな、眠ることになるのではなく、…ハレルヤ！

私たちはみな、変えられるのです。

（第一コリント 15:51）

皆さん、ご自分を見てください。あなたも、変わります。ハレルヤ？（笑）

では、変わることに。聖書には、こんな風に起こると書いてあります。皆さん、私を見て、瞬きをしてください。——そうです。それぐらいの速さで起こるのです。たちまち、一瞬のうちに、終わりのラッパとともに、です。ちなみに、ラッパは天で鳴るのです。ここではありません。人々が路上に立ってラッパを吹き、それで皆さんが気付いて、というわけではありません（笑）。天で終わりのラッパが鳴ると、シュッと私たちはここを出て行くのです。何故か？私たちは変えられ、もはや引力が私たちを抑えないからです。私たちは変えられ、私たちの古い細胞ももはや朽ちないのです。それで、朽ちるものが朽ちないものに変えられるという事です。それまでです。私たちはいなくなり、私たちはここを出て行くのです。

ところで、私たちは集会するのですよ。集会が予定されているのです。

どこで？雲の中で、です。

外に出たら、外で座ってコーヒーを飲む時は、雲を見上げてください。

「あそこで集合するんだ」と。間もなくです。

しかも、イエスは、他の誰かを送って、私たちを迎えに来させることも出来たのです。御座に座って、「ミカエル、いや、ガブリエル、彼らを迎えに行きなさい」と。

でも違います。イエスは今一度、御座を降りて、はるばる下って来られ、私たちと会ってくださいます。どこですか？途中で、です。私たちも途中まで行き、主も途中まで来られる。そして、聖書によれば、主がどれほど私たちを愛しておられるか、見てください。主は、私たちを彼の元に迎えてくださり、連れて行ってくださるのです。彼のいるところに？「私たちをもおらせるためです。」（拍手、歓声）

「じゃあ、そこで我々はどこに住むんだ？」

さて、私の聖書によれば、この2000年間、イエスはずっと、私たちに場所を備えてくださっています。

「いや、私はフリーウェイ91番か、71番の方が好きだな」

皆さん、耳が聞いたことのないもの、目が見たことのないものを、神を愛する者のために、神が備えてくださっているのです。私たちは、ぶっ飛ぶのです…これはたとえですよ？（笑）私たちがそこに足を踏み入れると、イエスは言うのです。

「ガブリエル、ご挨拶しなさい。」

「ミカエル？」

「これだよ。これが、あなたのものだ。」

「これが？」「私たちのために？」

「そうだ。あなたがたは打ち勝ったのだ。」

もしくは、あなたはこんな風に言っても良いのです。

「ハア、一生涯クリスチャンで生きて来たんだ。そろそろ引退だ。私は、こんな事信じない。」

選択肢は二つ。

競争を走り続けて来て、ゴール寸前で大きな幕のかかったゴール直前で、こんな風に周りを見回して、違う方向に歩いて行くなんて、何と悲しいことでしょうか。

イエスは言われました。

28 これらのことが起こり始めたなら、からだをまっすぐにし、頭を上を上げなさい。贖いが近づいたのです。

(ルカ 21:28)

それから、主は言われました。

31 そのように、これらのことが起こるのを見たら、神の国は近いと知りなさい。

(ルカ 21:31)

これはもちろん、この地上で神が私たちと統治される、千年王国のことです。ローマ 13 章にはこうあります。

11 あなたがたは、今がどのような時か知っているのですから、このように行いなさい。あなたがたが眠りからさめるべき時刻がもう来ています。というのは、私たちが信じたころよりも、今は救いが私たちにもっと近づいているからです。

12 夜はふけて、昼が近づきました。…

(ローマ 13:11~12a)

聖書には、第一テサロニケ 5 章に、私たちは夜の者ではなく、昼の者だと書かれています。それでも、私たちは世に住んでいます。世は夜です。しかし聖書は、それは事実だが、世はもう更けて、昼が近づいた、と伝えています。

目を覚ましましょう。もう、ゴール目前です。世の出来事は 100% 聖書に書かれています。他に何が必要ですか？エンターテイメント？私たちには、何かほかに必要なものがあるでしょうか？世界中で人々が、幻や夢を見ています。世界は預言されていた通り、めちゃくちゃです。そして、私たちには指導書があり、説明書があるのです。これら全てが起こり出したら、私たちは何をすべきか。頭を上を上げなさい。贖いが近づいているからです。

次に、この中の幾人かにお知らせです。

もしあなたが、こういったことを初めて聞いたのなら、大変です。何故でしょう？大変と言うのとは少し違いますが、あなたにはすべき役目が与えられました。

聖書には、私たちが「見張り人」だと言っています。自分が見張り人だと思っている方はどれぐらいいらっしゃるでしょうか？見張り人とは何か、ご存知ですか？見張り人とは、高い所に身を置き、他の人が見えないものが見える者のことです。私たちは燭台であって、机の上に置かれ隠れることは出来ない、と聖書にあります（マタイ 5:14~16 参照）。私たちは高い所にいるのです。私たちの聖書は、まだ起こっていない事を悟らせ、私たちは、これから何が起こるのか、はっきりと知っています。誰が攻撃するのか、誰が言い、何が起こるか、私たちははっきりと知っています。反キリストが出て来た時、世界中にどんな欺きが行われるのか、世界のシステムがどのようになり、宗教システム、政治システム、経済システム、私たちは全て知っています。全て、ここに書かれています。ここで問題は、これらの情報をもって、あなたは何をするか？

「独り占めするわ。」

そうですか？聖書には、見張り人は、人々に警告を与えなければならないと書かれています。また聖書には、全員が耳を貸すわけではないと書かれています。聖書は、エゼキエル3章と33章の両方で、こう告げています。

見張り人は、人々に警告を与えなければならない。そしてもし、彼らがあなたの言うことを聞き、それでも死ぬなら、彼らの血の責任は、あなたにはない。しかしもし、あなたが彼らに告げず、彼らが死ぬなら、まずは、彼らが死ぬのは、彼らがちゃんと聞いていないか、またはよく見ていなかった為でしょう。しかし、彼らの血の責任は、あなたの手にもある。つまりどういう意味か？それは、私たちには責任がある、ということです。ただ家で座って、心に留めるだけでなく。この世に、イエスがまもなく来られることを、知らせなくてはなりません。この世はまた、私たちの知る、終わりが近いことも知らなければなりません。この世はまた、これらが既に予測されていたことを、知らなければなりません。それは、神がそれを望まれたからではなく、神が人の心をご存知だからです。そして、それには解決策があることを、この世は知らなければなりません。希望があるという事を。その希望は、唯一、明日の朝（イースター：復活祭）によってのみ、手にすることが出来るのです。復活です。

言っておきますが、復活がなければ、私はクリスチャンではありませんでした。（拍手）

本当のことを言うと、私の人生の中で世界中を見回しても、人々を誤って導いた、死んだ預言者は、もう十分います。7日前、私はエルサレムにいましたが、ここに来ることが分かっていたので、念のため、もう一度墓の中を覗いて来ました。

そこは、空っぽでした。

墓は、空っぽです。（拍手）

もう一つ、お伝えしておきます。復活が力です。そして、復活の力が、あなたを動かすのです。それは、あなたから出る力ではありません。

最後に、これをもって締めくくりたいと思います。

もし、今日この中に、復活の力を知らないと言う人がいるなら、

そして、霊に生き、霊に歩むということの意味が分からないなら、

また、あなたに希望がなく、恐れや不安でいっぱいなら、

全てが崩壊して行っていると思っているなら、あなたの居場所は間違っています。

聖書は、恐れさせるためではなく、備えさせるためにあるのです。これが、その目的です。今夜、初めに言ったように、神はその子どもたちには、神の計画を知っていて欲しいと願っておられます。

9 …わたしが神である。ほかにはいない。わたしのような神はいない。

10 わたしは、終わりの事を初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げ、…

（イザヤ書 46:9～10）

祈りましょう。

お父様、あなたの御言葉に感謝します。

実にすばらしく、両刃の剣のようです。主よ、感謝します。

あなたの御言葉は信頼に値し、確かで、正確です。

主よ、感謝します。預言者たちは、彼らの解釈を書きませんでした。

お父様、ありがとうございます。彼らが語っている間、聖霊が動いてくださいました。

お父様、ありがとうございます。罪を知らない方が罪となられ、そのために私たちは、キリストにあって、神の義とされました。

お父様、永遠のいのちという賜物に感謝します。

お父様、あなたの元を集めてくださるという約束、祝福された希望に感謝します。

あなたが、花嫁のために、もうすぐ戻って来られることに、感謝します。

お父様、感謝します。恐らく、私たち全員が死ぬわけではありませんが、私たち全員が変えられます。

お父様、今夜、あなたが送られた、あなたの御言葉が出て行き、その目的が果たされ、虚しく返って来ることがないように祈ります。

お父様、ありがとうございます。世界の指導者たちは、全てを分かっているつもりであり、彼らは、自分たちの目には賢いことだと考えています。

しかし、お父様、あなたはあなたの御言葉を通して、あなたの預言者、イエス様ご自身を通して、私たちに全てを明かしてくださいました。彼らはこれを行う、これらがこの先に起こる事だ、と。そして、この世の上に起ころうとしていることを避ける道も、私たちに与えてくださいました。

感謝します。イエスの血によって、あなたは裁きを、試練の時を過ぎ越されました。ですから、私たちは間もなく、あなたの元へ行けるのです。この世は、自身の働き、自分たちの不信仰、反逆の実を味わう事になります。

お父様、この終わりの時、どうか私たちを城壁の見張り役としてお使いください。私たちが何も隠さず伝えられますように。その結果を、私たちは知っていますから。私たちが知り、世が知らない事を、伝えないで起こる結果がどれほど深刻であるか。

主よ。今夜、あなたに伝えます。「主イエス。来てください。」

このお祈りを、他にない、尊い御名、すべてに勝る最も美しい御名、イスラエルの聖なるお方、平和の君、主の主、神の子羊、それでいて、ユダの獅子であられる方、インマヌエル、ヤシュア、イエスの御名を通してお捧げします。全て、神の民は言います。

アーメン。
